

患者様用

受持看護師:

月 日(日時)	／	／	／
経 過(病日)	入院1日目	入院2日目	入院3日～入院8日目
達成目標	◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が80～130mmHg） ◆神経症状が増悪しない ◆痙攣がない	◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が80～130mmHg） ◆神経症状が増悪しない ◆痙攣がない	◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が80～180mmHg） ◆神経症状が増悪しない ◆痙攣がない
治療・薬剤	点滴を行います 血圧が高ければ血圧を下げる点滴を行います	降圧薬が点滴から内服に変わります	入院5日目程度で点滴が終わります
処 置	必要であれば酸素投与を行います		
検 査	血液検査・CT撮影・エックス線撮影・心電図検査・尿検査など	頭部CT撮影で出血拡大の有無を確認します	脳出血とは・・・ 脳の中で出血が起こった状態です。脳出血の最大の原因は高血圧です。生活習慣を改善し、日頃から血圧の管理をきちんとし、脳出血が起きないように予防することが大切です。 脳卒中の徴候を認めた場合、出来るだけ早く救急車で病院を受診してください。
活動・安静度	ベッド上安静です	頭部CT撮影後異常なければ症状に合わせて車いす・歩行器歩行・座位が可能になります	
食 事	入院当日は絶食です	症状に合わせて食事や経管栄養を開始します	
清 潔	看護師が体を拭きます	頭部CT撮影後はシャワー浴ができます	
排 泄	ベッド上排泄となります 必要であれば膀胱留置カテーテルを挿入します	頭部CT撮影後は症状に合わせて排泄方法が変わります	
患者様およびご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	主治医が治療計画について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 薬剤師が薬について説明いたします 入院費に関するご心配事がありましたら、お早めに4階6番窓口にご相談ください	リハビリを開始します 持参薬確認後、内服を再開します	脳卒中パンフレットで指導します （病態/服薬/食事/生活） 主治医が今後の治療方針について説明いたします 看護師が退院または転院に向けての問題点を一緒に考え、それに向けて準備をしていきます ※転院先の病院で希望があればお知らせください

国立病院機構熊本医療センター 脳神経外科 2023.8月 改訂